

分野名	健康生体医学分野									
科目名	精神神経科学									
英文科目名	Neuropsychiatry									
科目責任者	上原 隆 教授									
担当教員	研究指導教員 (実務経験等)									
	専門科目担当教員 (実務経験等)	上原 隆 教授 (医師・教育職) ,川崎 康弘 (医師・教育職)								
代表的な研究課題	統合失調症の病態と治療に関する研究									
	抗精神病薬の作用機序 (臨床研究と実験研究)									
	精神神経疾患における機能的脳画像検査の有用性									
学修目標	一般目標	精神神経科学領域全般の疾患について、成因や病態、診療 (診断や検査、治療) ならびにそれらの研究方法に関する専門的知識について習得する。								
	行動目標 (DPとの関連)	疾患を解剖・組織学、生理、生化学、薬理学、分子遺伝学など生物学的側面と、心理学や精神病理学など心理社会学側面の両面から理解し、診療や研究ができるための知識や手法・手法を身につける。また発表や討論を通じて判断能力と問題解決能力を身につける。						(DP1・2・3・4)		
	学位授与方針 (DP)	DP1：医学・生命科学全般にわたる幅広い学識と生涯にわたり自立して研究活動を継続する能力を有している。 DP2：高い倫理観と高度の専門知識を有し、最先端の医学研究を企画・立案して遂行する能力を有している。 DP3：独創的な学術論文を論理的、かつ明確に記述して公表し、国内外の学会において発表し討議する能力を有している。 DP4：科学的技能を活かして、地域医療から国際保健・医療まで医療全般の進歩に貢献し、次世代の研究者及び教育者の育成にも貢献する能力を有している。								
教科書	教科書は定めず、事前に資料を配付する									
準備学習	内容	精神神経科学領域疾患の疾病概念の構造を把握し、疾病分類と診断についての知識を再確認するために、米国精神医学会のDiagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition (DSM-5) を参考に準備学習をおこなってください。								
	時間	30分/1回の授業あたり								
課題に対するフィードバック	レポート等の課題を提出させた場合は、内容のチェック・添削を行い、本人へフィードバックして理解度のアップをめざす。									
評価方法等	評価方法	実習、レポートならびに口頭試問で評価する。 評価配分：実習・レポート70%，口頭試問30%								
	成績評価基準	教育要項22頁[成績評価・単位認定方法等]参照のこと								
科目番号	講義	5031301	演習	5031302	実験実習	5031303	特別研究	50501052		
単 位	4		4		4		6 (2-4年次で)			
	30コマ	60H	60コマ	120H	60コマ	120H	30コマ	60H		
開講時期	通年		通年		通年		通年			
配当年次	主科目とする場合	1または2年次		1または2年次		1または2年次		2-4年次		
	副科目とする場合	1, 2, 3年次		-		-		-		
選択/必修の別	主科目とする場合	必修		必修		必修		必修		
	副科目とする場合	選択		-		-		-		
時間割	区分	講義		演習		実験実習		特別研究		
	昼間	前期15週	月曜 5限目		金曜 4-5限目		水曜 4-5限目		火曜 5限目	
		後期15週								
	夜間	前期15週	月曜 6限目		金曜 6-7限目		水曜 6-7限目		火曜 6限目	
後期15週										
備考	授業時間の詳細は、21頁 [医学研究科における授業時間] を参照のこと。 上記の時間に参加できない場合は、担当教員と協議の上、具体的な時間割を決定する。									

担当教員	講義		演習		実験実習		特別研究	
	上原 隆 教授 川崎 康弘 教授		上原 隆 教授 川崎 康弘 教授		上原 隆 教授 川崎 康弘 教授			
授業内容	精神神経科学領域の疾患の成因や病態、治療並びにそれらの研究方法について主に実証的な生物学的精神医学の立場から講義する。重点的な対象疾患としては統合失調症、気分障害、認知症性疾患などの神経心理学的疾患を取りあげる。具体的にはMRIやPETなどの脳画像検査や神経生理、神経心理検査による統合失調症や気分障害の病態メカニズムや薬物の作用機序、アルツハイマー型認知症や非アルツハイマー型認知症の病態や臨床と治療などについて講義する。		講義内容を理解するための演習を行う。基本的な研究方法に加えて、専門性の高い研究方法の技術指導を行い、得られた成績に対する考察と評価、情報の検索の仕方、学術論文の理解と批判的判断能力、まとめ方、発表方法などを習得させる。また、関連領域の幅広い知識を習得させると共に、研究セミナーでの発表・討論をとおして研究の質や学生の思考判断力・問題解決能力を高める。		講義や演習に則した実験実習を行う。具体的には臨床では種々の脳画像検査(SPECT, MRI, fMRI, MRSなど)や生理学的検査(ビデオ脳波モニタリング、無拘束長時間脳波記録、脳波トポグラフィ、睡眠ポリグラフィ、大脳誘発電位及び事象関連電位記録、経頭蓋磁気刺激法など)の仕方や解析方法、また実験では電気生理学的実験手技、マイクロダイアリスなどの研究方法や解析の仕方を学ぶ。		精神神経疾患の病因および病態に関する生物学的研究	
授業場所	臨床研究棟4階 精神神経科学医局		臨床研究棟4階 精神神経科学医局		臨床研究棟4階 精神神経科学研究室		臨床研究棟4階 精神神経科学 他	
授業計画(インターネットに掲載)	講義	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5031301.pdf						
	演習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5031302.pdf						
	実験実習	http://www2.kanazawa-med.ac.jp/~d-gakuin/office/implementationplan/5031303.pdf						
資格取得などのキャリアパス	日本精神神経学会専門医の取得を目指す。							
研究指導教員の実務経験	医師							
履修上の注意事項	①質問の受付は、随時行う。							
	②特別な配慮を必要とする場合は、事前に担当教員に相談すること。							
	③履修科目届にて履修希望を届け出し、履修年度の2月に、授業科目履修報告書にて、成績を報告することにより、修了要件の単位として認定される。							
	④履修報告の際には、履修した科目ごとに「授業方法改善のためのアンケート」を提出すること。							
オフィスアワー	上原 隆 教授 (臨床研究棟4階 精神神経科学) 火曜日 13:00~17:00 (事前にメールでの照会必須) e-mail uehara[at]kanazawa-med.ac.jp [at]→@							